

ホームルーム活動(人権) 学習指導案

- 1 主 題 (単元) 公正な採用選考をめざして
- 2 主題設定の理由 (省略)
- 3 ね ら い (単元の目標)
 模擬面接の様子や社用紙からどの項目が本人の能力や適性と関係ないのか、どの項目が差別選考につながるのか見抜き、どのように行動すればよいか考えることによって、一人一人が鋭い人権感覚を磨き、人権尊重社会を築く社会をつくろうとする意欲を高める。
- 4 指 導 計 画
 公正な採用選考をめざして・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間 (本時)
 就職差別につながるとされる14項目・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間
 結婚差別について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間
 世界の人権に関する諸問題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間
 人権についての意識調査・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間
- 5 本 時 の 学 習
 - (1) 目標
 動画を見て就職差別につながる可能性のある質問に気付かせるとともに、公正な採用選考とはどうあるべきか考えさせる。
 - (2) 普遍的な学習のテーマ・・・法の下の平等
 個人人権課題名・・・・・・・・女性、外国人、同和問題
 - (3) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 5分	○就職試験の面接内容について知っていることを確認する。	○面接試験などでどのような質問があるかを考え、クラスで共有する。	
展開 35分	○面接の様子の動画を見て、差別につながるところはないか考える。 ○自分が面接官だと仮定し、どのような質問をするか考える。	○動画を見て、疑問や違和感を感じた点について、理由とともにまとめさせる。 ○個々で考えた内容をグループで共有した後、クラスで共有させる。 ○前の活動の気付きをもとに、面接官として適切な質問を考え、グループで共有させる。また、質問の意図も考えさせる。 ○女性差別や外国人差別、昨年度学習した部落差別とも深いつながりがあることを説明する。	○就職差別について、不適切な質問に気付くことができたか。(知識的側面) ○主体的に活動に参加できているか。(価値的・態度的側面)
まとめ 5分	○振り返りシートを記入して、本時の振り返りをする。	○学習内容を振り返らせ、次の学習につなげる。 ○「就職差別につながるとされる14項目」について触れる。	○就職差別を解消するために自身にできることを考え、行動しようとする意欲が高まったか。(価値的・態度的側面)